

森舞台 CLASSICS vol.5



2022.10.15 (土)

開場 / 13:30 開演 / 14:00 (雨天決行)

会場 / 伝統芸能伝承館 森舞台

宮城県登米市登米町寺池上町42

入場料 / 一般3,000円

高校生以下1,000円

全席自由 (小学生以下無料・未就学児入場可)

チケット取扱い H@!FM、とよま観光物産センター遠山之里 (登米市)
音楽の森ヴァース (奥州市)

新型コロナウイルス感染防止のためお願い

- ・発熱や倦怠感等、風邪のような症状のある方はご来場をお控え下さい。
- ・ご来場の際は、マスクの着用や咳エチケット、手指の消毒等にご協力をお願いします。
- ・感染防止対策にご協力いただけない場合、入場をお断りすることがございます。
- ・感染拡大状況等を鑑み、公演を中止とさせていただきます場合がございます。

出演 QUARTET SPIRITUS (カルテット・スピリタス)



公式Facebookページ

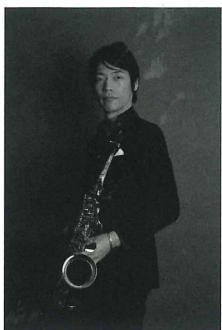
「新しいエスプリ(ラテン語でSPIRITUS)を持つサクソフォン・カルテット」として、2003年の結成以来、フランスの正統派マスターピースにこだわり続けた演奏スタイルが高く評価されている。同時にロマン派以前のクラシック、現代曲、ポップス、ジャズなど幅広いレパートリーを持つ。2006年より一般財団法人「地域創造」登録アーティストとして「公共ホール音楽活性化事業」に参加。これまでに5タイトルのアルバムをリリース。サクソフォンのフレンチマスターピースのみを収録した2014年リリース「THE QUARTET」と最新作2019年「THE QUARTET II」は、レコード芸術誌で2作品連続の特選盤に選ばれる快挙を達成した。同作品は、2020年のレコードアカデミー賞にノミネートされる秀作となっている。森舞台には3度目の登場。



松原 孝政 (ソプラノ・サクソフォン)

昭和音楽大学卒業(特別賞)。A.Reed音楽祭ソロ・コンテストに最年少(16歳)で入選。第2回東京室内楽コンクール入選。第16回日本管打楽器コンクール第3位入賞。東京文化会館オーディションに合格。「トリオ・リベルタ」「The Wind Wave」メンバー。2003年、映画音楽「シンフォニック・フィルム・スペクタキュラー」をソリストとして日本フィルハーモニー交響楽団と共に収録。また2005年には初のソロCD「Crusing」をリリース。他CD多数。またCM・ドラマ・映画などのスタジオレコーディング等にも参加。昭和音楽大学、上野学園大学講師。

Instagram



波多江 史朗 (アルト・サクソフォン)

東京音楽大学、同大学研究科修了。パリ国立高等音楽院を一等賞、セルマー賞を得て卒業。ポーランド・ザブジェ国立管弦楽団、東京交響楽団、神奈川フィルハーモニー管弦楽団、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団、大阪交響楽団と共に。NHK芸術劇場、FM名曲リサイタルに出演。ソロアルバム「Songs」をCAFUAレコードよりリリース。著書「朝一番! アルトサクソ練習帳」をシンコーミュージックより出版。2018年マンハッタン音楽院に招聘されマスタークラスを行う。木管8重奏団「Take8」メンバー。東京音楽大学、尚美ミュージック・カレッジ専門学校各講師。

WebPage



Facebook



YouTube



松井 宏幸 (テナー・サクソフォン)

埼玉県出身。埼玉栄高、東京芸大卒。須川展也門下生。「東京佼成ウインドオーケストラ」「MUSIC PLAYERS おかわり団」「須川展也サクソバンド」のメンバーとしても、全国各地で演奏活動を行っている。2014年、東京フィルハーモニー交響楽団のワールドツアーに参加。東京文化会館新進演奏家オーディション合格。第8回日本クラシック音楽コンクール全国大会第3位。第22回日本管打楽器コンクール第5位。東京藝術大学、洗足学園音楽大学講師。ビュッフェクラランポンジャパン専属講師。音楽の森ヴァース専属講師。

Twitter



東 涼太 (バリトン・サクソフォン)

東京芸術大学卒業。併せてアカンサス音楽賞受賞。同大学院修士課程修了。これまでにソリストとして、東京ニューシティ管弦楽団、藝大フィルハーモニアとコンチェルトを協演。2006年より「清水靖晃 & サクソフォネッツ」「東京中低域」に参加。国内はもとよりモスクワ、キューバ、ロンドン、ベルギー、オランダ、スペインなど海外での公演も行ない、好評を得ている。2013年より「大友良英スペシャルビッグバンド」のメンバーとしても活動。ソロ活動、オーケストラや吹奏楽への参加、レコーディングへの参加の他、様々な形態でのアンサンブル活動を展開している。洗足学園音楽大学講師。ビュッフェクラランポンジャパン専属講師。

Facebook



伝統芸能伝承館 森舞台

藩政時代から伝わる「登米能」をはじめ、「岡谷地南部神楽」「とよま囃子」など伝統芸能の活動拠点として、平成8年にオープン。設計は新国立競技場や歌舞伎座の設計で知られる建築家の隈研吾氏。隈氏はこの「森舞台」で日本建築学会賞を受賞した。正面奥の鏡板には日本画家千住博氏製作の老松と若竹が描かれている。

登米能は、アマチュアの登米謡曲会が演じる。アマチュアだけで演能できるのは宮城県では唯一で、東北地方においても貴重な存在となっている。宮城県指定無形民俗文化財。